



2017・3・11

第 266 号

101-0065 東京都千代田区

西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

南スーダン、森友、共謀罪…安倍退陣の声大きく

草の根の底力に自信をもって

【愛知県・あいち九条の会】 あいち九条の会は2月18日、名古屋市中で「結成12周年のつどい」を開きました。地域、職場の会の代表ら100人が参加、草の根で広がる九条の会の運動を倍増させようと申し合わせました。

代表世話人の水田洋さん(98)は、しっかりと足取りで登壇。

「非合理主義で改憲に突き進む安倍政権を打破しなければいけない」と強調。戦前の自身の体験を述べ、「先輩たちが治安維持法で次々と逮捕された。戦前に戻す『共謀罪』を絶対に阻止しよう」と訴えました。

代表世話人でもある小林武・沖縄大学客員教授が「安倍非立憲政権と日本国憲法—沖縄は問いかける」と題して講演。「非立憲主義による改憲は、憲法の本質を転換させるもので、憲法に対するクーデターだ」と糾弾。「9条を守る一点での結集に確信をもとう」と話しました。

伊藤耕二事務局次長が12年間の活動経過を紹介。昨年11月3日の「県民のつどい」に2000人が参加したことをあげ、「情勢にかみ合った活動を支える体制づくりが求め

九条の会第6回全国交流集会の 成果をこれからの運動に =<報告集>=

◇主な内容 呼びかけ人あいさつ(澤地久枝)/問題提起(小森陽一)/世話人あいさつ・メッセージ/分散会の報告(第1～第7分散会)/資料 アンケートから見た九条の会の課題、他

◇B5判 76頁 1冊 800円(〒82)

5部以上〒無料 10部以上1割引

=< DVD >=

◇主な内容 呼びかけ人あいさつ/事務局長報告/世話人あいさつ・紹介

◇取り扱い 1本 1500円(〒160)

られている」と話しました。

加藤洪太郎事務局長は「九条の会の運動が改憲阻止へ重要な役割を担っている。草の根の底力に自信を持ち、運動を強めよう」と呼びかけました。

各地の九条の会代表が報告。春日井市の男性は「成人式会場前でのシール投票に若者が真剣に応えてくれた」、瀬戸市の男性は「全戸配布ニュースを発行し続け42号にな

った」と話しました。

各地に広がる「3の日」行動

【岐阜県各務原市・九条の会・各務原】

九条の会・各務原は3月3日、「アベ政治を許さない」行動を強風のなか9人の参加で行いました。作家の澤地久枝さんの呼び掛けで始まった行動は、今回で17回目。

毎回参加している伊藤利明さん（71）は、「アベ政治を許さない行動は今の情勢にピッタリだ。南スーダン、共謀罪、森友学園問題など、いま倒さずしていつ倒すのか」と怒りをぶつけました。

年金者の河田博さん（70）は「森友問題は迫力があつた。マスコミも正面から報じている。隠し通す安倍政権は本当にふてぶてしい」と語りました。

男性（78）が「いまが徹底的に攻め込むチャンス。ウソはすぐバレる」とパネルを大きく掲げて通行車両に力を込めて手を振ると、「頑張れ」と手を振って応えるドライバーが何人もいました。

安倍退陣へ共同広げるとき

【大分市・津留9条の会】 大分市津留地域住民でつくる「津留9条の会」は3日、「アベ政治を許さない」街頭スタンディングに取り組みました。13人が横断幕やボードを掲げ、暴走政治ストップ、安倍政権は退陣をとアピールしました。

参加した飯田幸子さん（81）は「国会を見ていて腹が立ってしょうがない。安倍首相は一日も早くやめさせないといけないと心底思う」と語りました。

世話人の田辺修さん（57）は「共謀罪、

南スーダン派兵、森友学園問題など、安倍政権への怒りが行動につながった。声をあげ、共同を広げるときだ」と話しました。

子どもたちに戦争のない未来を

【青森県・青森県九条の会】 「アベ政治を許さない」のポスターを掲げ、青森県九条の会は3日昼、暴走する安倍政権への怒りを示そうと青森市駅前公園で行動しました。全国一斉行動に連帯し毎月3日、同場所で行っています。

寒風吹きすさぶ悪天候をついて参加した市民たちは、「駆け付け警護」の任務を課せられ南スーダンへ派遣されている自衛隊の即時撤退や、森友学園問題の疑惑徹底解明などを求めて、抗議の声をあげました。

スピーチした阿部喜美子さんは、安倍首相ら閣僚の多くが改憲右翼団体、「日本会議」の思想を持っていると指摘。「今回の森友学園の問題、戦争法や共謀罪の成立を狙う動きにもつながっているのではないのでしょうか。子どもたちに戦争のない平和な未来を託すため、一緒に安倍政権退陣をの声をあげましょう」と訴えました。

参加者は「戦争したがる首相はいらない」「アベ政治を許さない」と力強くコールし、安倍政権の退陣を求めました。

共謀罪の国会提出阻止を

【山形県西山形地域・憲法九条を守る西山形の会】 憲法九条を守る西山形の会は2月25日、佐藤欣也弁護士を招き、共謀罪の学習会を開きました。

高橋嘉一郎九条の会代表のあいさつの後、佐藤弁護士が「共謀罪は何を狙っているの

か」と題して講演。

佐藤弁護士は、安倍政権が今国会に提出しようとしている共謀罪の危険な内容を戦前の治安維持法などにも触れながら解析。

「安倍政権はオリンピックのテロ対策を口実に何としても成立させようとしている。政府にとって使い勝手の良いものになりたいという思惑がある。共謀罪の対象となるのは幅広く、共謀罪を運用するのは警察であり、警察は常に市民を監視するものだ」と話し、沖縄県高江の米軍基地反対運動などに対する警察の対応を例に挙げ、市民運動にも対象にする恐れがあると述べました。「盗聴やGPSを使って市民を監視することになる。共謀罪は私たちにいつ牙をむくかわからない法律だと肝に銘ずるべきだ」と強調しました。

治安維持法の経験にも学び

【富山県高岡市・高岡地区「9条の会」】

「共謀罪」の学習会が2月18、19の両日、富山県高岡市と射水市で開かれました。高岡会場は高岡地区「9条の会」と日本国民救援会高岡支部、射水会場は「射水デモ実行委員会」が主催。両会場とも、富山中央法律事務所の水谷敏彦弁護士が、共謀罪とは何か、戦前の治安維持法との関係など話しました。

水谷氏は、共謀罪は犯罪が実行される前の計画・話し合いを処罰するため、必然的に人の内心を探ることになると指摘。秘密保護法、刑事訴訟法改悪、戦争法に続く「戦争する国」づくりの総仕上げだと述べ、共謀罪の危険性を広く市民に知らせ、必ず阻止しようと呼びかけました。

高岡会場では、参加者から「北朝鮮問題で不安にかられ、未然に防ぐ方がいいのではという人もいるが、事実を見て話すことが大事では」など、さまざまな意見や質問が出されました。射水会場では、治安維持法に関わる質問で、60人余が逮捕され4人が獄死した1942年の言論弾圧事件「泊・横浜事件」について、参加した研究者が説明する場面がありました。

戦争法廃止のアピール行動

【神奈川県鎌倉市・大船・九条の会など】

鎌倉市で2月26日、「戦争法廃止！9条守れ！アピール行動鎌倉」のパレードが行われました。

出発地では、愛犬「レオ」を引き連れた大船・九条の会の飯田洋さん（75）が「安倍内閣を倒すまで頑張ろう」と呼びかけました。

参加者57人は「戦争法は今すぐ廃止、野党は共闘」「安倍政権から平和を守れ」などと訴え、JR大船駅周辺を練り歩きました。

初参加の伊東和子さん（63）＝同市＝は、パレード開催を知らせるチラシを見て「もう黙ってられない」と、友人の柳川美枝さん（68）＝横浜市栄区＝を誘いました。

伊東さんは「友人を見かけたので手を振ったら、拍手してくれた。日本を戦争できる国にしてはいけない」と強調しました。

パレードを見ていた熊本県出身の女性（82）＝同区＝は、10歳のとき、長崎の原爆の、きのこ雲を見たと言います。「母は『長崎から後光が差したから日本は勝つ』と喜んでいただけ、違った。毎日B29（爆撃機）が飛び交い、空襲もありました。

戦争は二度としてはいけないね」と話しました。

安倍政権打倒へ野党は共闘を

【愛媛県新居浜市・にいはま憲法九条を守る市民の会】 愛媛県新居浜市の「憲法九条をまもり安保健制をなくす新居浜の会」は2月25日、憲法学習会を開き、130人が参加しました。野党3党と9条の会代表がリレートークし、「思想信条の違いを超えて野党は共闘し、安倍政権を打倒し、安保健制を廃止しよう」と決意を固めました。

元新居浜市長の佐々木龍氏の司会でリレートークしました。

民進党元衆院議員の白石洋一氏は「安保健制廃止は、わが一党ではできない。賛同する政党が固まり、政権を取らなければならない」と力を込めました。

社民党の石川稔県議は「安倍政権を、それぞれの立場を乗り越えて打倒し、平和、民主主義、立憲主義を守ることをお互いに確認したい」と述べました。

共産党の岡崎ひろし市議は「総選挙では参院選の選挙協力を最大の教訓にし、野党の政策協定、選挙協力を実現しよう。安倍政権を打倒し、次の課題の政権合意へと進めよう」と訴えました。

にいはま憲法九条をまもる市民の会の曾根康夫代表が発言。松山大学の倉澤生雄教授が基調講演しました。

草の根の地道な活動が政治を変える

【川崎市生田区・生田9条の会】 春まだ浅い2月4日、日本キリスト教団生田教会

にておこなわれた生田9条の会10周年記念講演会。上智大学教授の中野晃一さんが、およそ140人、満席の参加者を前に最新の政治情勢と市民のたたかいについて語りました。

「この地をはじめとした皆さんのほんとは地道な活動が、今日の政治を変えていく原動力になっていると実感しています」と、語り始めた中野さん。日・米の実情を折々に比較しながら、危機を深める世界と現政権の危険な本質を明らかにしました。権力者の分断統治を覆すには市民のつながりが大切、と、淡々とした口調に熱気をにじませて草の根行動へのエールを送りました。（「生田9条の会ニュース」第63号より）

街頭での宣伝に工夫が必要を痛感

【横浜市青葉区・青葉台地域九条の会】

① 3区連絡会の2月3日の駅宣は、たまプラ駅で参加者40名、当会からは6名で戦争法反対署名活動。全体で47筆、当会4筆と少なかった。

菅さんから4種類各5名の署名が届き、西村さんから4209円分の切手のカンパあり。

② 雨のため延期した定例の駅宣は19日に13人が集まって青葉台駅で実施。日曜日でいつもの人とは違う雰囲気、チラシは200枚程度、署名は8筆。

駅宣は毎回知恵を絞っているつもりだがあまり効果は出ていない。10年ほど前には「のむぎ」の若者の和太鼓と一緒にやりました。このように路上ライブの若者と一緒にやるなど工夫がほしい。良いアイデアありませんか？（「青葉台地域九条の会ニュース No114.」）